

青年部

平成29年11月29日（水）キャッスルプラザ 1F ローズルーム（名古屋市中村区）において、午後3時より会員33名が参加して11月全体会議が開催されました。

全体会議では、「全社員、経営者 ～全社員経営参画の組織づくり～」と題して、ネットヨタ南国（株）取締役相談役、（株）ビスタワークス研究所顧問・講師 横田英毅氏をお迎えしてご講演いただきました。

会議は丹羽庸介委員の司会ではじまり、会長 近藤大樹氏より開会挨拶があり、続いて教育情報委員長 松永 幸氏より趣旨説明があり講演が始まりました。

横田氏は「経営は学歴、知識の豊富さとは関係なく誰でも経営者になれます。経営者に経営とは何をする事かと聞いても 挨拶をする近藤会長 明確な答えを出せる人はいません。ましてや全社員を経営者にするなんて考えもできません。しかし私たちは日常を無意識に自己管理しています。それを少しステップアップさせることが自分を経営することです。経営とは変えること。社員一人ひとりが仕事のやり方を変えていく、自分を変えていく、そういう組織集団をつくるのが大切です。そうすれば全社員が経営者という組織になります。今日の話は経営のノウハウの手前にある価値観を変えませんかというお話しです。」と前述されました。



挨拶をする近藤会長

11月全体会議



横田氏はネットヨタ南国（株）の創業以来、一貫してES（従業員満足）を経営の根幹に置き、社員が自身の能力を最大限に発揮できるESの高い組織を作ることを常に目指してきました。同社は、社員が自発的に気づき、考え、行動し、反省し、改善していき、頭ごなしに上司より指示命令はせず、社員自身に委ねることを大切にしているとのこと。それぞれの社員がその場その場で一番良いと思ったことを社員が自ら考え行動する自主自立型組織によるチームワークが、同社のCS（顧客満足）の源であり強みとなっています。そのような横田氏の人間性尊重の組織作り、社員のやる気を高めるノウハウや経営者の役割や考え方について解説をされました。



講師のビスタワークス研究所 横田氏

講演会後場所を移し懇親会が行われました。横田講師も参加され、参加者からの熱心な質問に対応され有意義な交流の場となりました。

講演会後場所を移し懇親会が行われました。横田講師も参加され、参加者からの熱心な質問に対応され有意義な交流の場となりました。

青年部の若きホープ

中部保全（株）近藤大樹氏は、平成20年青年部に入り委員長、副会長を歴任後、現在第13代会長として30余年の歴史を誇る青年部58名を牽引しています。同氏は会長就任後、会員の意識向上に向けた事業を意欲的に開催し、青年部ならではのスタンスで業界の活性化を図っています。また新入社員安全衛生教育・研修に講師として自社における労災事故の防止対策の取組を紹介し、経営者的立場からも活動の場を広げています。社業においては、国内で水銀廃棄物リサイクル施設として有名な野村興産（株）の協力会社として、環境負荷の少ない安全な処理に貢献されています。そのマルチな活動は、青年部の若きホープとして今後の活躍が期待されます。

